

資料

資料1 盲・聾・養護学校における情報教育の実施状況に関する調査

1. 学校種別をお答えください。

該当する記号に○印を付けてお答え下さい（以下同様）。なお、併設の場合は、複数○印を付けて下さい。

- (ア) 盲学校 (イ) 聾学校 (ロ) 知的障害養護学校
(エ) 肢体不自由養護学校 (オ) 病弱養護学校

1. 教員数および幼児・児童・生徒数をお答えください。

- (ア) 教員数 : () 名
(イ) 幼児・児童・生徒数 :
幼稚園 () 名 小学部 () 名 中学部 () 名 高等部 () 名

2. 学校で保有されているコンピュータの台数をお答えください。

() 台 その内、授業で利用されている台数 () 台

3. あなたの学校では、児童生徒にコンピュータを利用した指導を行っていますか。

- (ア) 実施している。 (イ) 実施していない。

何名の先生が実施されていますか：() 名 その理由をお聞かせください。
(理由：)

* 次の5.にお進みください。 * 5ページの7.にお進みください。

4. コンピュータは主にどのような指導に利用されていますか。

(1) 幼稚園についてお聞きします。

主にどのような領域で利用していますか。また、利用時間（その他の例：月に2時間、学期に1時間）、利用目的もお聞かせください。利用時間の高い順から3つ記入してください。

領域等	利用時間	利用目的
	週に__時間 その他： __時間	
	週に__時間 その他： __時間	
	週に__時間 その他： __時間	

(2) 小学部についてお聞きします。

(該当する記号(ア)～(エ)に○印を付けてお答え下さい。複数回答可)

(ア) 各教科で利用

主にどの教科で利用していますか。また、利用時間（その他の例：月に2時間、学期に1時間）、利用目的もお聞かせください。利用時間の高い順から3つ記入してください。

教科名	利用時間	利用目的（複数回答可）
	週に__時間 その他： 時間	① コンピュータに慣れ親しませる ② 情報の収集 ③ データの処理 ④ コンピュータによる発表 ⑤ コンピュータによる自己表現 ⑥ コンピュータの扱いを習得させる ⑦ 教材等の提示 ⑧ 障害の補償 ⑨ その他（ ）
	週に__時間 その他： 時間	① コンピュータに慣れ親しませる ② 情報の収集 ③ データの処理 ④ コンピュータによる発表 ⑤ コンピュータによる自己表現 ⑥ コンピュータの扱いを習得させる ⑦ 教材等の提示 ⑧ 障害の補償 ⑨ その他（ ）
	週に__時間 その他： 時間	① コンピュータに慣れ親しませる ② 情報の収集 ③ データの処理 ④ コンピュータによる発表 ⑤ コンピュータによる自己表現 ⑥ コンピュータの扱いを習得させる ⑦ 教材等の提示 ⑧ 障害の補償 ⑨ その他（ ）

(イ) 養護・訓練で利用

利用時間	利用目的（複数回答可）
週に__時間 その他： __時間	① 身体 の健康 ② 心理適応 ③ 環境の認知 ④ 運動動作 ⑤ 意思の伝達

(ウ) 特別活動で利用

週に____時間（その他 __時間） 利用目的（ ）

(エ) その他

週に____時間（その他 __時間） 利用目的（ ）

(3) 中学部についてお聞きします。

（該当する記号(ア)～(エ)に○印を付けてお答え下さい。複数回答可）

(ア) 各教科で利用

主にどの教科で利用していますか。また、利用時間（その他の例：月に2時間、学期に1時間）、利用目的もお聞かせください。利用時間の高い順から3つ記入してください。

教科名	利用時間	利用目的（複数回答可）
	週に__時間 その他： 時間	① コンピュータに慣れ親しませる ② 情報の収集 ③ データの処理 ④ コンピュータによる発表 ⑤ コンピュータによる自己表現 ⑥ コンピュータの扱いを習得させる ⑦ 教材等の提示 ⑧ 障害の補償 ⑨ その他（ ）
	週に__時間 その他： 時間	① コンピュータに慣れ親しませる ② 情報の収集 ③ データの処理④ コンピュータ による発表 ⑤ コンピュータによる自己表現 ⑥ コンピュータの扱いを習得さ せる ⑦ 教材等の提示 ⑧ 障害の補償 ⑨ その他（ ）

週に__時間 その他 : 時間	① コンピュータに慣れ親しませる ② 情報の収集 ③ データの処理 ④ コンピュータによる発表 ⑤ コンピュータによる自己表現 ⑥ コンピュータの扱いを習得させる ⑦ 教材等の提示 ⑧ 障害の補償 ⑨ その他 ()
-----------------------	---

(イ) 養護・訓練で利用

利用時間	利用目的 (複数回答可)
週に__時間 その他 : __時間	① 身体の健康 ② 心理適応 ③ 環境の認知 ④ 運動動作 ⑤ 意思の伝達

(ウ) 特別活動で利用

週に_____時間 (その他 __時間) 利用目的 ()

(エ) その他

週に_____時間 (その他 __時間) 利用目的 ()

(4) 高等部 (専攻科を除く。) についてお聞きします。

(該当する記号(ア)～(エ)に○印を付けてお答え下さい。複数回答可)

(ア) 各教科で利用

主にどの教科で利用していますか。また、利用時間 (その他の例: 月に2時間、学期に1時間)、利用目的もお聞かせください。利用時間の高い順から3つ記入してください。

教科名	利用時間	利用目的 (複数回答可)
	週に__時間 その他 : 時間	① コンピュータに慣れ親しませる ② 情報の収集 ③ データの処理 ④ コンピュータによる発表 ⑤ コンピュータによる自己表現 ⑥ コンピュータの扱いを習得させる ⑦ 教材等の提示 ⑧ 障害の補償 ⑨ その他 ()
	週に__時間 その他 : 時間	① コンピュータに慣れ親しませる ② 情報の収集 ③ データの処理 ④ コンピュータによる発表 ⑤ コンピュータによる自己表現 ⑥ コンピュータの扱いを習得させる ⑦ 教材等の提示 ⑧ 障害の補償 ⑨ その他 ()
	週に__時間 その他 : 時間	① コンピュータに慣れ親しませる ② 情報の収集 ③ データの処理 ④ コンピュータによる発表 ⑤ コンピュータによる自己表現 ⑥ コンピュータの扱いを習得させる ⑦ 教材等の提示 ⑧ 障害の補償 ⑨ その他 ()

(イ) 養護・訓練で利用

利用時間	利用目的(複数回答可)
週に__時間その他： __時間	① 身体の健康 ② 心理適応 ③ 環境の認知 ④ 運動動作 ⑤ 意思の伝達

(ウ) 特別活動で利用

週に____時間(その他__時間) 利用目的()

(エ) その他

週に____時間(その他__時間) 利用目的()

5. 現在、児童生徒が使用している入出力装置等をお答えください(複数回答可)。

- (1) 点字プリンター (2) 音声合成装置(読み上げソフト) (3) 点字入力キーボード
- (4) ディスプレイ文字拡大装置(拡大ソフト) (5) 点字ディスプレイ (6) 音声入力装置
- (7) 標準キーボード (8) マウス (9) トラックボール
- (10) ジョイスティック (11) タッチスクリーン (12) タブレット
- (13) キーガード
- (14) キーボードやマウス等を代替するする入力装置(名称:)
- (15) その他(内容:)

6. ハードウェアの整備を進める上で、どのような問題点がありますか(複数回答可)。

- (ア) コンピュータの数が少ない。
- (イ) 周辺機器の数が少ない(例えばプリンタ)。
- (ウ) 児童生徒の障害に適した入力装置が少ない。
- (エ) コンピュータの型が古く現在のソフトウェアが使えないなどコンピュータに問題がある。
- (オ) その他(具体的に)

8. 校内でコンピュータを利用した教育を推進していくための組織についてお聞きします。

どれか一つに○をつけてください。

- (ア) 校務分掌にあり、組織的に取り組んでいる。
- (イ) 組織的に取り組んでいない。

9. コンピュータを使った指導のための教員数についてご記入ください。

- (1) 自分でソフトウェアを作成できる教員数.....()名
- (2) ソフトウェアを作成はしないが、既成ソフトウェアを使うのに不自由のない教員数・()名
- (3) 他の教員からの援助を受けてコンピュータを使っている教員数.....()名

10. 現在、利用しているソフトウェアの入手方法および種類についてご記入ください。

- (1) 校内での開発 () 種類 (2) 他校からの提供 () 種類
 (3) 教育委員会等からの提供 () 種類 (4) インターネット等を通じての入手 () 種類
 (5) ソフトウェア販売業者等からの購入 () 種類 (6) その他 () 種類

11. 現在、利用しているソフトウェアの内、有効なソフトウェア（3つまで）についてご記入ください。

なお、入手方法に関しては、設問10の(1)～(6)のいずれかの番号を記入してください。

授業名	ソフトウェア名称	利用のねらい	入手方法
例：算数	分数計算プログラム	分数の計算の理解を図る	(1)

12. ソフトウェアの整備を進める上で、どのような問題点がありますか（複数回答可）。

- (ア) 市販ソフトウェアの購入予算が不足している。 (イ) どのようなソフトウェアがあるのかわからない。
 (ウ) ソフトウェアの内容がわからない。 (エ) 希望するソフトウェアが少ない。
 (オ) ソフトウェアを利用した実践事例に関する情報が少ない。 (カ) その他 ()

13. インターネットについてお聞きします。

(1) あなたの学校では、インターネットを利用していますか。

- (ア) 実施している。 (イ) 実施していない。

(2)にお進み下さい。

* 7ページの(9)にお進み下さい。

(2) インターネットに接続している端末の台数は何台ありますか。

- (ア) 1台のみ (イ) 2台～5台 (ウ) 6台～9台 (エ) 10台以上

(3) 週に何時間ぐらい授業で利用されていますか。

() 時間

(4) 主にどのような用途で利用されていますか（複数回答可）。

(ア) 教材等の情報収集

(内容 例：ソフトウェアの収集)

(イ) 在宅学習支援

(内容)

(ウ) 授業での利用

(内容 例：理科で利用 週に__時間利用)

(エ) その他

(内容)

(5) 今後、どのような実践を行ってみたいですか（複数回答可）。

- (ア) 他校との授業における交流
- (イ) 児童生徒間、クラス間での情報のやり取り
- (ウ) 教材の収集と利用
- (エ) 情報発信
- (オ) 保護者との連絡
- (カ) その他（ ）

(6) インターネットの利用に関して、学校外の協力者はありますか。

- (ア) 協力者あり
(具体的に 例：情報教育センター指導主事)

(イ) 協力者なし

(7) あなたの学校ではホームページを開設していますか。

- (ア) 開設している。 (イ) 開設していない。

- ① URL（ホームページアドレス）は、
()
- ② ホームページからの情報発信内容は、どのようなものですか（複数回答可）。
 - (ア) 児童・生徒による学習発表
(具体的に)
 - (イ) 学校の歴史、所在地などの紹介
 - (ウ) 学校行事
 - (エ) クラブ活動
 - (オ) 教師による授業実践報告
 - (カ) その他（ ）

(8) インターネットの利用に関してどのような問題点がありますか（複数回答可）。

- (ア) 端末数が少なく授業での活用が困難
- (イ) 特定の教員に稼働が集中
- (ウ) 通信費等が増加し十分な活用が困難
- (エ) 個人情報保護等が不整備
- (オ) 管理している先生の負担が増大
- (カ) 技術的支援の不足
- (キ) インターネットを利用した実践事例に関する情報が少ない
- (ク) その他（ ）

* 8 ページの14.にお進み下さい。

(9) インターネットを利用していない学校にお尋ねいたします。

- ① インターネットを利用していない理由をお聞かせください（複数回答可）。
 - (ア) インターネットに詳しい教員がない。
 - (イ) インターネット用の回線がない。
 - (ウ) 学校教育の中でどう利用していいのかわからない。
 - (エ) その他（ ）

② あなたの学校では、今後、1年以内にインターネットを導入される予定はありますか。

(ア) はい (イ) いいえ

③ どのような実践を行ってみたいですか（複数回答可）。

- (ア) 他校との授業における交流
- (イ) 児童生徒間、クラス間での情報のやり取り
- (ウ) 教材の収集と利用
- (エ) 情報発信
- (オ) 保護者との連絡
- (カ) その他（ ）

14. 校内研修についてお聞きします。

(1) あなたの学校では、情報教育に関する校内研修を実施していますか。

(ア) 実施している (イ) 実施していない（理由： ）

* (3)にお進みください。

(2) 実施している場合、主な研修内容はどのようなものですか（複数回答可）。

「技能に関する研修」

- (ア) OS等の基本操作
- (イ) ワードプロ、表計算等の操作
- (ウ) インターネット、マルチメディア等の活用技能
- (エ) 学習用ソフトウェアの扱い方
- (オ) 自作ソフトウェアの作り方
- (カ) その他（ ）

「学習への活用研修」

- (ア) 学習指導におけるコンピュータ利用に関する研修
- (イ) ソフトウェア活用実践例を通じた研修
- (ウ) 学級経営におけるコンピュータ利用に関する研修
- (エ) インターネットの教育的利用に関する研修
- (オ) その他（ ）

(3) 授業でコンピュータを利用していない先生が活用できるようになるために、どのような研修が必要だと思いますか（複数回答可）。

- (ア) コンピュータの必要性についての意識を高める研修
- (イ) コンピュータの操作方法についての研修
- (ウ) 学習用ソフトウェアを見たり触れたりして現状を知る研修
- (エ) コンピュータを活用した授業の進め方に関する研修
- (オ) その他（ ）

15. コンピュータ等を利用した指導の実践例があればお答えください。

対象児、指導内容、指導方法、効果等についてご記入してください。

対 象 児	例：病弱児
教科・領域等	例：理科（小学部6年）
指 導 内 容	例：病弱児にとって、冬の時期に野外での星座観察は好ましいこととはいえない。そこで、コンピュータ上で星の動きを確認する。
指 導 方 法	例：天文ソフトを利用して、星座の動きをコンピュータ上で時間を追って調べさせた。また、インターネットを利用してNASAの星座に関する資料を収集させた。
効 果 等	例：南半球では南の空を中心に回っていることが確かめることができ、興味をもってコンピュータを操作していた。なお、筋ジス児には、自作の入力装置を用いた。

16. その他、ご苦労されている点や、ご意見等がありましたらお書きください。

もし差し支えなければ、学校名と回答者のお名前を以下にご記入いただけますと幸いです。

学 校 名： _____ 電 話 番 号： _____

御回答者の職・氏名： 職 _____ 氏名 _____

ご協力誠にありがとうございました。